

## 第3章

「さくらのまちづくり」  
～目指すべき姿～

本市の桜の現状や課題、樹勢調査及び市民アンケート結果等を踏まえ、10年後の「さくらのまちづくり」の目指すべき姿として、基本理念及び基本方針を定めます。

## 第1節 基本理念

### 1 基本的な方向性

- (1) 本市の桜は、植えられてから長い年月を経ているものが多く、樹勢が衰えていることが分かってきました。身近に桜がある風景を大切にして、市民・企業・行政の協働により、桜を次の世代に引き継いでいきます。
- (2) 本市の桜の歴史は、市民と企業が力を合わせて煙害を克服したことから始まったものであり、この歴史を多くの人々に伝えることが、桜に対する愛着や郷土を大切にす意識につながります。本市の歴史を学び、桜にふれあう機会を創出することで、桜をまちのシンボルとして誇れる意識の醸成を図ります。
- (3) 本市には、日本の「さくら名所100選」に選ばれている平和通りとかみね公園を始め、多くの桜の拠点がありますが、それらの桜の樹勢に衰えも見られます。樹勢回復や植え替え等の再整備に取り組むとともに、本市固有の桜を活用した名所づくりを行うなど、魅力的な交流拠点を創出します。
- (4) 本市は山と海の豊かな自然に恵まれ、豊富な観光資源を有しています。これらに桜を加えることで、回遊性の創出を図るとともに、その魅力を積極的に情報発信し、市内外からの桜に関する支援体制を構築することにより、交流人口の拡大を図り、地域の活性化につなげます。

### 2 基本理念

基本的な方向性を踏まえ、「さくらのまちづくり」を推進するため、本計画の基本理念を次のように定めます。

本市のシンボルである桜を次世代に引き継ぐとともに、桜を活かしたまちづくりを推進することにより、まちの活性化につなげる

## 第2節 基本方針 ～4つの方向性～

基本理念に基づき、基本方針として4つの方向性を定めます。

### 1 「さくらのまち日立」の原風景を次の世代に引き継ぐまちづくり

市民・企業・学校・行政等との協働による「さくらのまちづくり」を推進するため、地域の桜を地域で守り育てる仕組みづくりと桜の管理と保全活動を継続する体制を構築し、「さくらのまち日立」の原風景を次の世代に引き継いでいきます。

### 2 誇れるふるさとのシンボルとしての意識の醸成

コミュニティ単位の市民活動や子どもの頃から桜について学ぶ機会を通じて、地域への愛着や誇りを生み出し、本市のシンボルである桜を大切に思う意識の醸成を図ります。

### 3 桜を活かした魅力的な交流拠点の創出

自然環境に恵まれた本市の特色を活用し、立地に応じた独自性のある桜の拠点整備を推進し、既存の名所の再整備や新たな名所づくりに取り組むことで、市内外から多くの人々が訪れる、日立らしい魅力的な交流拠点を創出します。

### 4 さくらのまちづくりによる地域の活性化

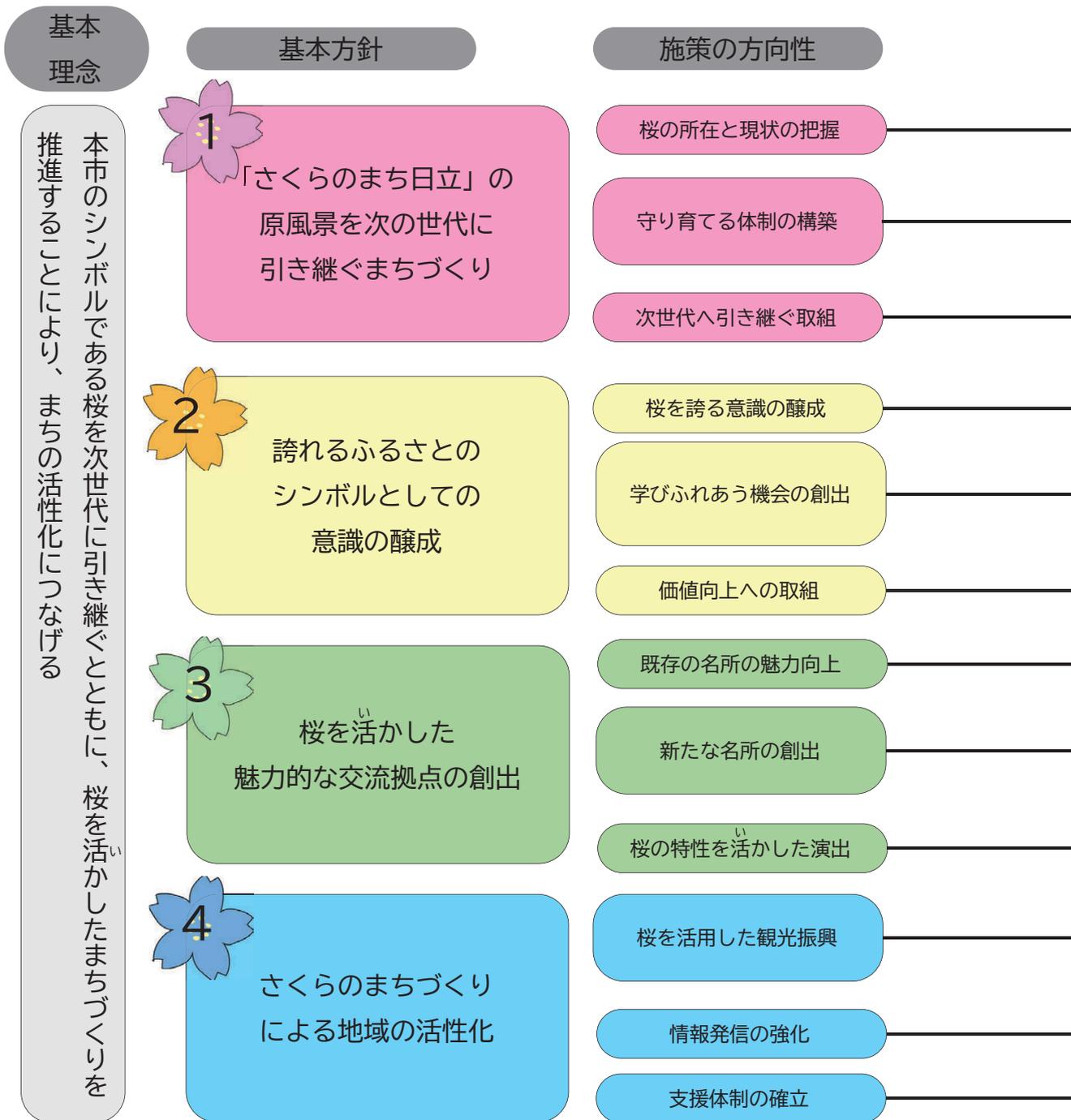
桜と観光資源を連携させて、相乗効果で人を呼び込む取組や積極的な情報発信を行うことにより、「さくらのまち日立」の魅力を市内外の多くの人々にPRし、交流人口の拡大を図り、地域の活性化につなげます。

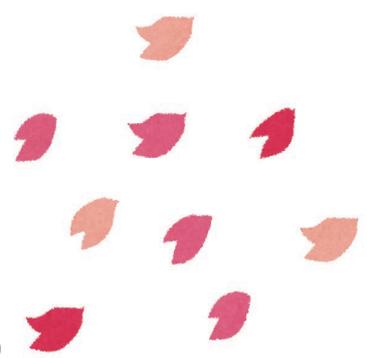


### 第3節 施策の体系

前2節で定めた基本理念及び基本方針に基づき、今後5年間で取り組む施策の方向性を決めました。

さくらのまちづくりを推進するため、これらの方向性を踏まえて、具体的な施策を展開していきます。





基本施策

★は優先して取り組む施策

- ★1 市民や企業との協働による桜の樹勢点検
  - 2 地域コミュニティによる桜を守り育てる体制づくり
  - 3 桜の知識や技能を有する「ひたち桜守<sup>さくらもり</sup>」の認定
  - 4 名木の保全と樹勢回復
- 
- ★1 地域を代表する「わがまちの桜」選出
  - 2 未来を担う子どもたちが学ぶ「さくら教室」の開催
  - 3 桜とふれあう植樹祭や観察会の開催
  - 4 企業や教育・研究機関と連携した桜材の活用研究
- 
- ★1 桜の重要管理拠点の再整備
  - 2 「ひたちらしさ」を演出する市固有の桜名所づくり
  - 3 魅力ある新たな桜の名所創出
  - 4 桜の名所をつなぐ回遊性の創出
- 
- ★1 桜と観光資源を結びつけた観光振興
  - 2 企業等との連携による桜の特産品の開発・販売促進
  - 3 SNSを活用した桜の情報発信強化
  - 4 市内外の支援者による「桜のサポーター制度」創出

## 第4節 基本施策

### 基本方針1

「さくらのまち日立」の原風景を次の世代に引き継ぐまちづくり

### 施策1-1 市民や企業との協働による桜の樹勢点検

#### 目的

本市の宝である桜を市民と共に点検し、市全体で桜を守り育てる意識を高めます。

本市には公園、街路、学校、交流センター、神社、企業など、身近な場所に桜が植えられ、市民に親しまれています。

それらがどのような品種なのか、またどのような状態にあるかを知るために、市民や企業と一緒に桜の点検を実施し、その結果を広く活用していきます。

そして、改めて身近な桜に目を向ける機会をつくるとともに、桜を守り育てる意識を高めていきます。

#### 主な事業

- 桜樹勢点検
- 桜の健康診断（さくら教室）

#### 樹勢点検結果の活用

- 樹勢点検の結果により、桜の品種、大きさ及び生育状況が把握できるため、必要かつ適切な管理と保全を行うことができるとともに、その管理状況をデータとして蓄積していくことにより、桜の健全化と長寿命化につなげます。
- 点検を通じて桜に関する知識や育てる技術が高まり、多くの市民が桜の保全やまちづくりに関わることにより、「さくらのまち日立」を広くアピールすることにつながります。



小学生による桜の健康診断

## 施策1-2 地域コミュニティによる桜を守り育てる体制づくり

### 目的

地域の桜を地域で見守る体制をつくり、次の世代へ引き継いでいきます。

公園、学校、交流センターなどの地域の桜を、地域住民・企業・学校と行政が連携・協力して地域で守り育てる体制を構築し、桜守活動を行います。

桜守活動を通じて、適切な管理と保全を行うことにより、良好な景観形成を創出し、桜を次の世代に引き継いでいきます。

### 主な事業

- 平和通り・かみね公園さくら名所100選委員会活動支援
- 鞍掛山さくら100年委員会活動支援

### 桜守活動の効果

- 桜を通して地域に密着した活動を続けていくことで、地域の環境保全やまちづくりにまで考えや活動が広がっていきます。
- 皆で知恵を出し合い、共に桜の見守り活動に取り組むことにより、良好な関係を築くことができ、地域全体が活性化します。



鞍掛山さくらの山づくり整備活動

## 施策1-3 桜の知識や技能を有する「ひたち桜守<sup>さくらもり</sup>」の認定

### 目的

桜の保全に関する知識や技能を一定の水準で持ち、保全活動のリーダーシップを発揮できる人を「ひたち桜守」に認定します。

桜の保全活動については、保全に関する知識を深め、観察・診断等の技能を習得しながら行うと、より有意義な活動となるため、桜の技能養成講座を開催して、桜守を養成します。

さらに、桜の保全に関わる知識や技能を一定の水準で持ち、保全活動でリーダーシップを発揮できる人を「ひたち桜守」に認定し、地域の桜保全活動の活性化を図ります。

### 主な事業

- ひたち桜守認定制度
- ひたち桜守養成講座
- 桜の技能養成講座

### ひたち桜守の役割

- 本市で進めるさくらのまちづくりを理解して、地域でリーダーシップを発揮し、地域住民と一緒に桜守活動を推進します。
- 身近にある桜を定期的に観察、点検し、桜が発する生育状況の変化を見極め、記録します。
- 施肥や不要枝の切除など、軽微な管理作業を行います。
- 桜が身近にあることの大切さを地域住民と共有します。



桜の技能養成講座

## 施策1-4 名木の保全と樹勢回復

### 目的

地域を代表する桜であり、シンボルである名木の保全と樹勢回復に取り組みます。

名木といわれる桜は、地域の歴史や文化、風習、景観の一部を担ってきました。これらの名木の保全と樹勢回復は、地域を一つにまとめる力になり、シンボルにもなることから、さくらのまちづくりにおいても重要な取組となります。

### 主な事業

- 助川小学校五代桜の樹勢回復
- 桜塚の保全

### 樹勢回復方法

樹勢が衰退した桜の名木の樹勢回復は次の手順で行います。

#### 生育状況調査

- ・ 幹や枝葉の状況
- ・ 根の発達状況
- ・ 虫病害の発生・被害状況
- ・ 保全・管理の状況
- ・ 環境調査

全ての段階において、専門知識を有した樹木医が対応しますが、「ひたち桜守」や地域住民との協働により、情報共有を図りながら進めていきます。

衰退原因の抽出・究明

対応策の検討・決定 / 費用の算出

樹勢回復の処置・工事

経過観察（モニタリング）

生育状況のチェック

## 基本方針2 誇れるふるさとのシンボルとしての意識の醸成

### 施策2-1 地域を代表する「わがまちの桜」選出

#### 目的

地域を代表する桜と名所地を選出することで、「わがまちの桜」として市民が関心や愛着を持つ機会とし、地域の桜を守り育てる活動につなげます。

各コミュニティから、地域を代表する桜と名所地を募り、「わがまちの桜」を選出します。

この選出された桜を通して、世代を越えた人々が桜を守り育てる活動でつながり合える環境を提供し、地域の活力と魅力向上を図ります。

また、ガイドマップ、市ホームページ及びSNSなどを通じて、身近な桜に触れる機会や情報を提供していきます。

#### 主な事業

- 地域を代表する桜と名所地の選出
- 「日立のさくら」ガイドマップ作成

#### 地域を代表する桜の選出方法

- ① 地域を代表する桜と名所地の選出  
コミュニティ単位で代表する桜を選出します。
- ② 樹木医による診断  
樹勢状況の把握により、管理治療方針を策定します。
- ③ 市民への公表  
選出された桜を「わがまちの桜」として、広く市民に向けて発信します。
- ④ 地域住民による保全管理活動  
地域の桜を地域で守り育てる活動に結び付けます。



美しい桜並木が楽しめる桜川緑地

## 施策2-2 未来を担う子どもたちが学ぶ「さくら教室」の開催

### 目的

本市の花である桜を通して、子どもの頃から郷土の宝を大切にする心を育む取組として、桜に関する学習の機会をつくります。

子どもの頃に体験した印象深い経験は、長い年月が経過しても深く心に残り続けます。小学生を対象としたさくら教室を開催し、子ども達に本市の桜の歴史とともに、桜の「今」を伝えたり、学校の桜に対して施肥などの活動を行うことにより、本市の宝である桜を大切に思う心を育み、桜を守り育てる人材の育成を図ります。

### 主な事業

- さくら教室の開催

### さくら教室の効果

- 市内全域の小学校を対象として、「さくら教室」を実施することにより、本市の桜の歴史を通じて、どのようにして再び豊かな自然環境に回復させたかを学び、環境保全の尊さを学ぶことができます。
- 子ども達が自ら測定した樹高や幹周などは貴重な記録であり、継続することにより、環境の変化が桜にもたらす影響などを知ることができます。



小学生を対象としたさくら教室

## 施策2-3 桜とふれあう植樹祭や観察会の開催

### 目的

桜とふれあう植樹祭や観察会を開催し、桜を知ってもらう、興味が湧く、深く学ぶ機会をつくります。

子どもの頃から桜の歴史や生育に関心を抱いてもらう機会として、子ども達や親子を対象とした植樹祭や教材を活用した講演会を開催します。

また、桜の季節に実際に咲いている桜を見て回る観察会を開催することで、より身近に桜を感じられる機会をつくります。

さらに、植樹祭や観察会等を通じて、地域の桜を守る活動に賛同し、桜守活動に参加するきっかけ作りの機会とします。

### 主な事業

- 桜の植樹祭
- 桜の観察会
- 鞍掛山さくらウィーク



地域の小学生が参加したかみね公園桜植樹祭の様子



鞍掛山のオオシマザクラを鑑賞するさくらウィークの様子

## 施策2-4 企業や教育・研究機関と連携した桜材の活用研究

### 目的

桜の更なる魅力向上を図るため、企業や教育・研究機関と行政の連携により、桜材の活用研究に取り組みます。

桜は、美しい花を咲かせて私たちを楽しませてくれますが、鑑賞する以外にも、薪やスモークチップなど、桜材が様々な分野で活用されています。

そこで、地域の企業や教育・研究機関と連携し、伐採した幹や剪定した枝の活用方法を調査研究し、本市の桜に付加価値を付けていきます。

### 主な事業

- 企業や教育・研究機関との共同による桜材の活用研究

### 関連計画

- 第3次日立市観光物産振興計画

### 桜の活用方法

- 薪
 

薪ストーブは再生可能エネルギーを使った、クリーンで熱効率の高い暖房器具と言われており、剪定した桜の木を加工することで、薪に利用することができます。
- スモークチップ
 

近年、豊かな自然の中でアウトドアを楽しむ人が増え、食材を煙で燻すための燻製材として、桜の木で作られたスモークチップが使われており、伐採した桜の利用にも期待できます。



## 基本方針3 桜を活かした魅力的な交流拠点の創出



### 施策3-1 桜の重要管理拠点の再整備

#### 目的

桜の重要管理拠点の再整備を推進し、魅力的な交流拠点を創出します。

本市を代表する桜を有する施設のうち、歴史・景観・利用などの観点から、重点的に桜の管理と保全に取り組むべき、4か所の重要管理拠点があります。

これらの拠点には、古いもので植樹後70年以上が経過するなど、樹勢の衰えが目立つ桜もあります。

新たな桜の植樹や樹勢回復などの再整備を行うことにより、桜の名所としての魅力向上を図ります。

#### 主な事業

- 平和通り桜更新事業・かみね公園桜更新事業
- 鞍掛山さくらの山づくり事業・十王パノラマ公園桜更新事業

#### 関連計画

- 平和通り桜更新実施計画・かみね公園活性化基本計画

本市の桜の重要管理拠点



平和通り



かみね公園



鞍掛山



十王パノラマ公園

## 施策3-2 「ひたちらしさ」を演出する市固有の桜名所づくり

### 目的

本市固有の桜を活用しながら、本市ならではの桜の名所を創出します。

極早咲きで希少性の高い「日立紅寒桜（ひたちべにかんざくら）」などの本市固有の園芸品種を活用しながら、本市ならではの桜の名所を創出します。

名所づくりには、同時期に開花する桜をまとめて植樹し、見応えのある景観を創り出すことが大切です。

そのため、固有の桜の苗木について、生産体制を確立し、適切な環境で育成・管理を行い、広く活用していきます。

### 主な事業

- 日立紅寒桜拠点整備事業
- 日立紅寒桜苗木生産事業

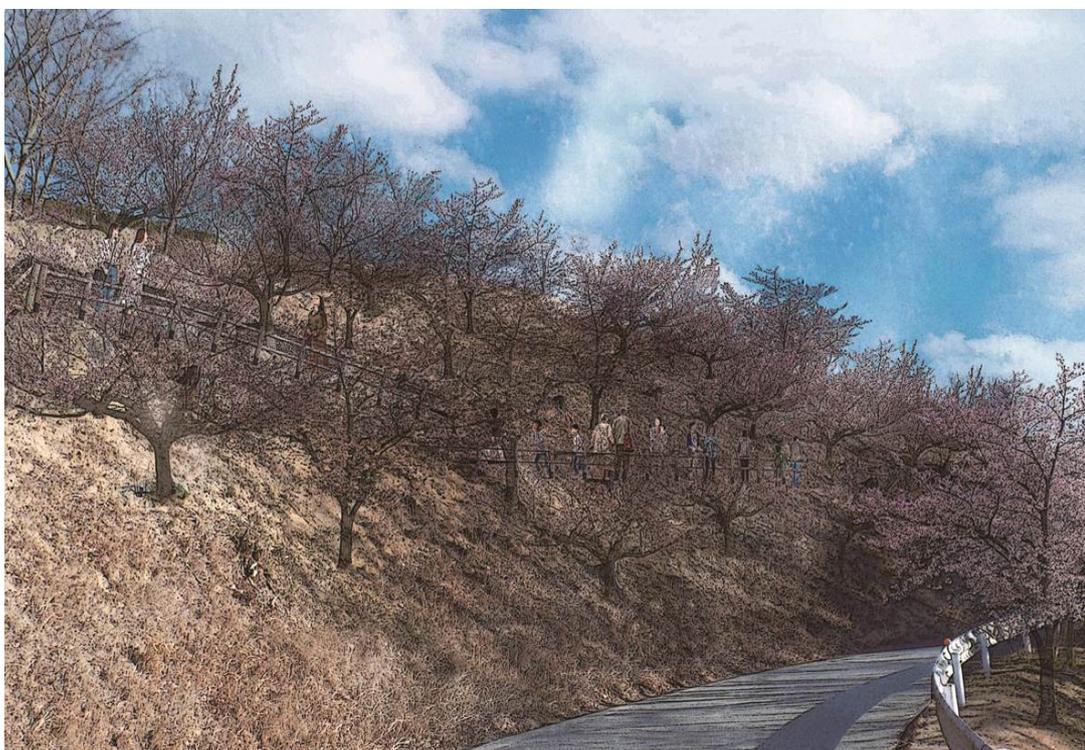


図15 本市固有種を活用した桜の名所イメージ - 散策路（日立紅寒桜）

### 施策3-3 魅力ある新たな桜の名所創出

#### 目的

本市の特色を活かした、新たな桜の名所を創出するとともに、既存の観光資源に桜を活用し、更なる魅力向上を図ります。

自然環境に恵まれた本市の特色を活用して、山地、山麓、市街地、海浜など立地条件に応じた、新たな名所づくりを行います。

また、既存の観光資源を桜で磨きをかけるという視点で、新しい桜を植樹したり、樹勢が衰えている桜の樹勢回復を図るなど、桜を活用した名所創出に取り組みます。

#### 主な事業

- 新たな桜の拠点整備事業



図16 新たな桜の名所創出イメージ（日立おさかなセンター周辺）

## 施策3-4 桜の名所をつなぐ回遊性の創出

### 目的

桜の名所ごとにテーマを持たせ、名所をつなぐ回遊性を創出することにより、本市全体を桜の名所にします。

魅力ある桜の名所に光を当て、名所をつなぐことにより、回遊性を創出します。  
 品種や場所によって開花時期が異なる特徴を活用し、長い期間、花を楽しむことができるモデルコースを設定し、桜めぐりの機会を提供します。

### 主な事業

- 桜の名所を回遊するモデルコース設定



図17 モデルコース設定エリア

## 基本方針4 さくらのまちづくりによる地域の活性化

### 施策4-1 桜と観光資源を結びつけた観光振興

#### 目的

桜と観光資源との連携を強化し、観光振興を図ります。

本市の恵まれた観光資源と桜を結び付けて、相乗効果で人を呼び込むことにより、観光振興を図ります。

特に、観光物産協会等との連携強化により、本市最大のまつりである「日立さくらまつり」を通して、交流人口の拡大を図ります。

また、ライトアップなどの手法により、桜の美しさや魅力をより効果的に見せる演出も行います。

さらに、桜と既存の観光資源を関連付けて、開花時期やテーマに応じた周遊ルートを設定します。

#### 主な事業

- 観光資源との連携強化による観光振興
- 桜めぐりの周遊ルート設定

#### 関連計画

- 第3次日立市観光物産振興計画

#### 桜と観光資源の連携

桜の開花時期だけでなく、1年を通じてそれぞれが補完し合い、相乗効果で人を呼び込むことができる連携を基本とします。

桜の開花時期には、既存の観光施設に本市固有の桜の鉢植えを設置し、華やかさを演出します。

開花時期を過ぎても、桜について情報を得られる場として交流施設を利用し、桜の歴史、保全活動に関するパネルを設置し、PR活動を行います。

観光施設のパフレットに桜の紹介を入れたり、桜の樹名板を設置するなどの取組を行い、情報発信していきます。



## 施策4-2 企業等との連携による桜の特産品の開発・販売促進

### 目的

桜が咲く時期を過ぎても、年間を通じて「さくらのまち日立」をイメージできる特産品を企業等と行政が連携しながら開発し、販売促進を図ります。

商工会議所や企業等と連携し、新たな桜のブランド商品の開発、PRを行います。  
本市にゆかりのあるオオシマザクラの葉を使い商品化するなど、特産物を開発し、販売につなげます。

そして、桜の花が咲く季節以外でも、桜の特産品のPRなどを通じて、「さくらのまち日立」を市内外に広く印象付けます。

### 主な事業

- 桜を活用した特産品の開発事業

### 関連計画

- 第3次日立市観光物産振興計画

### 【コラム】桜の活用

桜は染色に使われており、きれいなピンク色に染まるというと花をイメージすると思いますが、実際には、桜の枝や樹皮から美しい色が生まれます。

桜の花の塩漬けをお湯に入れた「桜湯」は、お湯に入れた花がぱっと開くことから縁起が良いといわれ、お祝いの席でよく用いられます。

また、塩漬けにした桜の葉も親しまれており、代表的なものとして「桜餅」のお餅を包んでいる葉はオオシマザクラの葉を用いています。

枯れた桜の木をお箸やストラップなどのグッズに再生したり、伐採した桜の木で遊具やおもちゃを作ったりする事例もあります。

## 施策4-3 SNSを活用した桜の情報発信強化

### 目的

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用して、開花発表やイベント、本市の桜の歴史、特産品などの桜に関する様々な情報を積極的に発信します。

SNSを活用して開花やイベント情報だけでなく、本市と桜の関わり、大煙突と桜の歴史、桜の特産品を購入できる販売店に関する情報等も積極的に発信します。

また、将来的にはライブカメラによる開花情報の配信や写真・映像などで桜を視覚的に学べる拠点の整備なども検討します。

### 主な事業

- 桜の管理台帳システム運用事業

### 関連計画

- 第3次日立市観光物産振興計画



本市固有の桜 日立紅寒桜の開花



本市の桜のルーツ オオシマザクラ



## 施策4-4 市内外の支援者による「桜のサポーター制度」創出

### 目的

桜が健全に育ち、いつまでも「さくらのまち日立」に関心を寄せてもらえるよう桜のサポーター制度を創出し、市内外からの支援者を募ります。

さくらのまちづくり推進のためには、市民はもちろん、市外在住者からも支援が必要です。

そのため、「桜のサポーター制度」を創出し、いつまでも「さくらのまち日立」に関心を寄せていただけるよう呼びかけていきます。

桜のサポーター制度では、さくらのまちづくりに関するイベント支援や里親及び募金による支援活動を行っていきます。

### 主な事業

- 桜のサポーター制度事業
- さくら基金の運用制度策定

### 桜のサポーター制度

- さくらのまちづくりに関するイベント支援  
環境整備活動や施肥作業などにより、桜の育成を支援します。  
また、さくらのまちづくりに関するイベントにおいて、開催案内の配布や会場の補助などを行い、支援します。
- 里親制度（アダプトプログラム）  
地域住民が里親となり、地域の公園や公共施設などに植樹した桜の育成管理を担当します。管理方法については桜守から指導を受けます。
- 募金による支援  
桜の保全・管理・育成のための基金制度を設立し、支援者から募金を受け付け、さくらのまちづくりに活用していきます。

## 本市固有の桜

### 日立紅寒桜（ひたちべにかんぎくら）

花の特徴：一重咲きで淡紫ピンク色  
 開花時期：1月中旬頃～3月上旬頃  
 植栽場所：かみね公園、多賀市民プラザなど。

JR常磐線小木津駅構内に生育していた寒桜を調査した結果、新品種であることが分かり、平成13（2001）年に市民公募により「日立紅寒桜」と命名されました。原木は枯れてしまいましたが、芽接ぎなどの方法で苗の増殖に成功し、平成18（2006）年に新品種として農林水産省に登録されました。（品種登録名：日立紅寒）



### おぎつやよい

花の特徴：一重咲きで淡紫ピンク色  
 開花時期：3月中旬頃  
 植栽場所：日高交流センター、日立市役所など。

JR常磐線小木津駅構内に生育していた「日立紅寒桜」の樹冠下で発見された実生苗から育てられた品種です。地域住民からの意見を基に、苗の発見場所と3月に開花する早咲きであることから、「おぎつやよい」と命名され、平成29（2017）年に新品種として農林水産省に登録されました。



### ひたち雅（みやび）

花の特徴：八重咲き 明るい淡紫ピンク色  
 少し芳香がある  
 開花時期：4月上中旬頃  
 植栽場所：池の川さくらアリーナ、日立市役所など。

（公財）日本花の会桜見本園において実生苗から育てられた品種で、日立市民運動公園内に建設された「池の川さくらアリーナ」の開館記念として、平成29（2017）年に寄贈されました。市民公募により、優美で華やかな品位を感じさせる花の印象から、「ひたち雅」と命名され、同年に新品種として（公財）日本花の会に認定されました。

